

審査員



審査委員長
杉山 正
(すぎやま まさし)
tp

1979年から18年間、米西海岸の Claude Gordon International Brass Workshop に日本人唯一のスタッフとして在籍。ゴードン直伝のプラスエデュケーターとして豊富な実績を持つ。スクールバンドからプロの奏者まで学習者の課題をすばやく見抜いて適確なアドバイスを与える鮮やかな指導に定評。ハイノート入門セミナー講師。ビッグバンド Serendipity18 のリーダー&リードトランペット。毎夏、Masashi Sugiyama Brass Camp開催。訳書「金管演奏の原理」、著書「Flex Tongue Build」「High Air Build」ほか多数。



金管審査員
堂本雅樹
(どうもと まさき)
btb / tuba

桐朋学園大学卒業。宮間利之と New Herd、原信夫と # & b、Eric Miyashiro EM Band、角田健一ビッグバンドなどに参加。現在は Serendipity18、Miggy+、Orchestra Sambador Oriente など多数のビッグバンド、向井滋春 4トロンボーン、サルサ・スウインゴサ、「ふぉーばすとろ」、クアトロ・コーリス、東京佼成ウインドオーケストラなど多様なジャンルでテナートロンボーン、バストロンボーン、チューバを駆使。東横トロンボーン倶楽部など自己のコンボでも活躍。willie's 堂本雅樹モデルマウスピース好評発売中。



木管審査員
Steve Sacks
(スティーブ・サックス)
sax

サククス&フルート奏者、アレンジャー、ハーバード大卒音楽理論学者。デューク・エリントン・オーケストラ、テイト・プエンテ・オーケストラ、マンハッタン・ジャズ・オーケストラ、パキト・デリヴェラ、ポール・サイモン、デンマーク国立ラジオ・ジャズ・オーケストラ、香港交響楽団などに参加。現在 Minaswing (ブラジル音楽)、Four Colors (ジャズ・フルート・カルテット)などで活動。CDやLP100枚以上に参加。ソコCD「First Dream:初夢」「Look To The Sky」ほか発売中。洗足学園音楽大学で教鞭をとる。



リズム・打楽器審査員
安カ川大樹
(やすかがわ だいき)
b

明治大ビッグサウンズでコントラバスを始める。1991年アルファレコード「Down under」でプロ活動開始。EWEより全編ソロベースアルバム「Let My Tears Sing」、自己トリオ Ya! 3の「LOCO」、安カ川大樹トリオ「KAKEROMA」リリース。2006年、9人編成のビックコンボ「ファーイーストジャズアンサンブル」を立ち上げる。100枚を超える国内外のレコーディングに参加。小曽根真、大坂昌彦、ティップピエトロ、アキコグレースほか。卓越した音楽センス、技量、スケールの大きなオリジナル曲で評価が高い。



リズム・打楽器審査員
Scott Latham
(スコット・レイサム)
ds

カリフォルニア州立大学バークレー校卒。1983年より日本在住。エリック・ミヤシロ率いるEM BANDメンバー。2004年より「ディズニー・オン・クラシック〜まほうの夜の音楽会」ツアーに参加。2007年「Scott's Music Camp in the USA」設立。UC Berkeley、Stanford大学でワークショップを企画。Akira Tanaなど海外アーティストを招聘、ワークショップ開催。2015年、米国唯一ジャズに特化した音楽大学 California Jazz Conservatory (CJC音楽大学) Recruiting Director, Japan 就任。中高大学生の吹奏楽部やプラスバンドへの独自の指導法に定評がある。



リズム・打楽器審査員
野口 茜
(のぐち あかね)
p

ピアニスト・作編曲家。akanekoの愛称で親しまれる。2014年トリオアルバム「MY BARND NEW WORLD」リリース。茅野嘉亮とデュオユニット Something New、ラテンバンド Los Tocaydores、ラテンジャズ・ビッグバンド Monaural Banquet Orchestra を率いる。ビル・ワトラス (tb)、スコット・マーティン (as)、フランシスコ・トーレス (tb)、ダン・フォネロ (tp)、ウィリー・ムリヨ (tp)、ポビー・シュー (tp)、ルイス・ボニーヤ (tb)、ディック・オーツ (as) などのアーティストと共演。2017年夏、リーダートリオ with エリック・マリエンサルのCD発売、そして東京JAZZ出演。